

光のページェントの社会貢献プロジェクト

12月8日～1月31日まで、新潟駅南けやき通りで「2017NIIGATA光のページェント」が開催されます。「駅裏」と呼ばれていた1980年代。「この街を明るくしたい」という有志により、けやき17本に3万球の電球が取り付けられました。現在は約200本のけやきに26万球のLED電球が輝いています。

光のページェントでは、社会貢献活動に重点をおいており、福祉作業所で製作されたLED電球を採用しています。また、地元の笹口小学校と連携し、6年生の授業の一貫として、イベントを盛り上げてもらうためのさまざまな企画を考えてもらっています。その他にも、近隣の住民、専門学校の学生など、たくさんの人々の協力により、今年もきらびやかなイベントが始まろうとしています！

「Eco列車でいこう！」～第101回～ 佐渡まんぎつの社員旅行（前）

（CO2排出量の少ない交通機関での旅行を応援していくコーナーです！）



11月11日。朝6時前の佐渡汽船ターミナル。爆弾低気圧迫る悪天候の中、大型カーフェリー「おけさ丸」に乗船する。横殴りの雨なのでデッキで出航風景を見るような天候ではない。思ったより揺れは少なく、佐渡の海藻が入った「ながもそば」を食べたり、横になってのんびりしていると、無事に両津に到着した。

5名の旅なので、港でレンタカーを借りて、効率良く「島巡り」をする予定だ。

国道350号から「大佐渡スカイライン」に入る。ふもとは穏やかだが、白雲台の休憩所付近は、20mを超える強風で立ってられない。足を踏ん張りながら、佐渡を一望できる風景を満喫した。

スカイラインを下ると佐渡金山がある。展示スペースを歩くと、有名な「なじみの女に会いてえなあ～」の人形が動いている。毎日ろうそくの明かりだけを頼りに坑内で労働していたのだから、その発言には説得力がある。

佐渡市役所付近まで戻って、新潟県の食ベログランキングTOP10に入る回転寿司「まるいし」で、佐渡産の「ぶり」「まだい」「焼きふぐ」などを堪能。ネタも大きいし、価格も安かった。

お腹がいっぱいになったが、甘いものが食べたい。再び相川に戻って、港を遠望できる「京町茶屋」で、「シフォンケーキ」としぼりたての「にんじんジュース」をいただく。

佐渡金山で栄えた相川は、ノスタルジック漂う素敵な街で、見るべきものが多い。簡易裁判所の建物を利用した「佐渡版画村美術館」の見学も楽しかった。

そして1日目のメインイベント「相川技能伝承展示館」へ。陶芸に挑戦だ。エプロンを着けてロクロの前に座ると、気分は陶芸家だ。一通り説明を聞いたあと、あらかじめセットされている陶土を両手の指で強めに押し付けると、面白いように形が変わる。楽しい解説の先生に教わりながら、試行錯誤したものの「ぐい飲みカップ」が完成した。窯焼きの後に郵送してくれるそうなので、到着が楽しみだ。

今晚の宿は、全室オーシャンビューの「ファミリーオ佐渡相川」。あいにくの天気ですが夕日は見えないが、少し早くチェックインして、温泉で骨を休め、休息に充てた。

日が暮れて、鮮魚店が経営している居酒屋「持田屋」へ。新鮮な刺身の盛り合わせや、焼き魚、佐渡産カキフライ、「天領盃」「北雪」などの地酒を堪能した。（次号につづく）



【11月11日(土)】

新潟港	6:00
両津港	8:30
佐渡金山	10:00
	10:50
すしまるいし	11:20
	12:00
京町茶屋	12:40
	13:10
版画村美術館	13:20
	14:00
陶芸体験	14:20
	15:30
ファミリーオ佐渡	15:50
	18:10
居酒屋持田屋	18:30
	20:50
ファミリーオ佐渡	21:00